南箕輪村むらづくり委員会（第 30 回）会議録

令和８年１月 20 日（火）午後７時～８時
場所：南箕輪村役場 講堂

出席者
足立 芳夫 委員（会長）、松田 聖一 委員（職務代理）、山岡 勉 委員、長谷川 義隆 委員、加藤 直樹 委員、高木 武 委員、唐木 茂人 委員、酒井 きよみ 委員、清水 真知子 委員、伊久間 美昭 委員、伊澤 武善 委員、清水 克俊 委員、田口 和弘 委員、小椋 信子 委員、菅家 美果 委員、平野 幸代 委員、千 菊夫 委員、富岡 順子 委員、原 和彦 委員、吉川 つづり 委員、
（事務局）
地域づくり推進課長　高橋、地域づくり推進課企画係長　北原、企画係　小澤
欠席者
北原 泰司 委員、新村 典久 委員、橋場 麻衣子 委員、入倉 眞佐子 委員、宮坂 大樹 委員、井口 千鶴 委員、稲生 正徳 委員、三澤 聡 委員

1. 開会

松田職務代理より開会の言葉があり、開会した。

2. 会長あいさつ

足立会長より、本日は南箕輪村創生総合戦略検証の答申書案と、南箕輪村国土利用計画案について審議いただきたい旨のあいさつがあった。

3. 協議事項

本日の協議事項は、「南箕輪村創生総合戦略検証の答申書（案）について」、「南箕輪村国土利用計画（案）について」及び「その他」であった。

（1）南箕輪村創生総合戦略検証の答申書（案）について

事務局から、創生総合戦略の検証結果を踏まえた答申書案について説明があった。
説明では、前回までの検証結果として、4 つの基本目標はいずれも「概ね順調」と判断され

ていること、あわせてA評価及びC・D評価となった項目、並びに委員会で出された意見を付帯意見として整理したことが説明された。

また、付帯意見として、認定農業者への資金相談体制の構築、移住定住サイトの内容見直し、区加入率低下への対応、ふるさと名物認定制度のメリット強化、登下校見守り活動の計画的実施、わくわくクラブのPR強化、河川環境保全活動の周知などを盛り込んだ案であることが説明された。

さらに、令和8年度からは第6次総合計画と連動した新たな創生総合戦略が始まることから、今回「努力を要する」又は「改善対策を要する」とされた項目のうち、引き継がれる課題については改めて検討し、持続的で活力あるむらづくりにつなげてほしい旨を特記事項として記載しているとの説明があった。

協議の結果、委員から特段の修正意見はなく、答申書案のとおり答申することが了承された。
なお、創生総合戦略の答申は1月27日（火）午前10時から、会長及び職務代理により行う予定であることが確認された。

（2）南箕輪村国土利用計画（案）について

事務局から、南箕輪村国土利用計画案について説明があった。
説明では、この計画は国土利用計画法に基づき、村の区域における土地利用に関する基本事項を定めるものであり、令和8年度からの10年間について、南箕輪村第6次総合計画の基本構想を踏まえ、望ましい土地利用のあり方と行政上の指針を示すものであるとの説明があった。

また、今回の案は、平成28年6月策定の現計画を大きく変更するものではなく、長野県計画の改定動向や第6次総合計画との整合を踏まえつつ、現状に合わせて必要な見直しを加えたものであることが説明された。
基本構想、利用区分ごとの規模の目標、地域別概要、必要な措置の概要などで構成されており、農地から宅地への転換傾向を踏まえつつ、10年後の土地利用の方向性を示しているとの説明があった。

主な質疑・意見

- 委員から、資料に記載された「策定の経過」において、令和5年8月にむらづくり委員会へ諮問したとあるが、当時その認識が薄かったため、どのような経過で検討が進んできたのか質問があった。
- これに対し事務局から、当初、総合計画、都市計画マスタープラン、国土利用計画

をまとめて諮問しており、国土利用計画については長野県計画の更新を待つ考えもあって後ろ倒しとなったこと、令和 6 年度には役場内の総合計画推進委員会や策定部会で原案を検討してきたことが説明された。

- 委員から、10 ページの基準年次の数値は実績かとの質問があり、事務局から令和 5 年時点の実績値を基にしているとの説明があった。
- 会長からは、現行計画と比較すると、総合計画との整合を図る中で文言整理や記述の見直しが行われており、例えば住宅ゾーンの記述では現行計画にあった「オープンスペースの確保」の表現が、第 6 次総合計画の土地利用構想に沿う形で整理されていること、また高速交通網整備に関する記述では、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据えた文言が盛り込まれていることなどの補足があった。

協議の結果、国土利用計画案については各委員が持ち帰って確認し、意見がある場合は 2 月 2 日頃までに事務局へ提出し、次回委員会でまとめることとされた。
次回の第 31 回むらづくり委員会は、2 月 10 日（火）午後 7 時から役場講堂で開催し、国土利用計画案のまとめを行う予定であることが確認された。

（3）その他

委員から追加の協議事項は特になかった。

4. その他

事務局から今後の日程について説明があった。
創生総合戦略答申は 1 月 27 日（火）午前 10 時から、会長及び職務代理により行う予定であることが改めて案内された。

また、第 6 次総合計画「夢と未来～みなみみのわゲーム～」体験会を、2 月 14 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで、村民センター2 階大会議室で開催する予定であり、委員にも参加協力をお願いしたい旨の案内があった。

5. 閉会

松田職務代理より閉会の言葉があり、閉会した。